

# 神戸の施設建設着工に向け 国の整備補助に期待膨らませ

募金目標の達成を呼び掛ける建設推進委員



第45回兵庫県ろうあ者新年大会

宍粟市山崎文化会館

## ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム  
淡路ふくろうの郷  
広報委員会

洲本市中川原町中川原28番地1  
TEL:0799-25-8550  
FAX:0799-25-8551  
ホームページ

<http://hyoufuku.main.jp/fukuro/>

### 施設の名称募集

去る1月20日に開催された兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどいにおいて、施設建設推進委員会は「神戸市長田区細田神楽町に建設予定の新しい施設の名称をみんなで決めましょう」「5500万円を突破した募金の1億円達成に奮闘しましょう」と呼びかけ、参加者より合計5万円を超える募金が寄せられました。

一方、1月24日には当法人や神戸ろうあ協会が上京、厚生労働省に2019年度の施設整備補助金が交付されるよう陳情しました。

インフルエンザが例年以上に猛威を振るっている今、淡路島内の施設での深刻な感染がニュースとなっています。淡路ふくろうの郷では今のところ、入居者の感染者は見られませんが、この事態を重く見て、当面、一般の方の来訪を制限させていただいております。ご理解とご協力をお願いします。早期の終息を願って。

1月25日(金)は毎年の恒例行事となっている大根まつりでした。

地域の平野俊和さんが自分で育てた大根をたくさん持ってきてくださり、地域交流会のご協力のもと、今年も美味しいおでんが炊きあがりました。入居者、地域の方々、職員と一緒に冬の味覚を楽しめました。

## 大根まつり



▲平野さん、地域交流会のみなさんご協力ありがとうございました。



## 節分で福を招く



▲自分作りの巻きずしをほおぼる石崎さん



▲今からおいしい巻きずしを作りますと勝楽さん、北風さん

# ふくろう物語

多趣味で

ラジコン大会で受賞も

山下輝興さん(76歳)



▲ラジコン大会受賞の記事と山下さん

山下輝興さんは昭和17年5月26日に兵庫県赤穂市で生まれました。

生まれつき聞こえなかったため、姫路聾学校に入學。小学部4年までは寄宿舎から、その後は家から電車で通っていました。口話での教育だったため、「先生の話すくのとがわからなかった。」とくれ、卒業後は木工の会社に入り、

入居後は欠かさず朝の会や

(生活援助員 浦手寛仁)

60歳過ぎに病気で半身不随になるまで、同じ会社で働き続けました。27歳の時に子供の頃から知り合いだった難聴の奥様と結婚をされました。その後、長男長女と2人の子どもに恵まれました。でも子ども達が健聴者だったため、子どもが何を言っているのかわからず困ったと話されています。

趣味は望遠鏡での星の観察、カメラで風景等の撮影、飛行機や船の模型作りなど多彩です。ラジコン大会では賞を取られ専門の雑誌に掲載されたこともあります。

## ふくろうの郷で暮らして創る

暮らして創る

そんな活動的な山下さんですが、平成20年に脳溢血を発症。娘さんの介護を受けながら、平成30年4月にふくろうの郷に長期入所されました。

DVDやラジコンの本などがたくさんあり、他の入居者を部屋に招いては、西部劇のDVD鑑賞会を開かれたり、趣味の話で盛り上がるなど、ふくろうの郷での生活を謳歌されています。

(生活援助員 浦手寛仁)

## 苦勞続きでも

笑顔絶やさずに

市枝はま子さん(91歳)

昭和3年、兵庫県小野市の農家に生まれました。1月2日で91才とられました。

顔の色つやもよく、とても若々しいです。市枝さんは認知症を患われており、ご本人からなかなかお話しが聞きできないため、よく訪れ

ふくろう大学に参加されます。車イスを練っては他のユニットを訪問し、お話しをされたり、娘さんの同伴でラジコン大会に参加したりと活

発な山下さんです。部屋にはDVDやラジコンの本などがた

くさんあり、他の入居者を部屋に招いては、西部劇のDVD鑑賞会を開かれたり、趣味の話

で盛り上がるなど、ふくろうの郷での生活を謳歌されています。

(生活援助員 浦手寛仁)

てくださる長男さんからお話したい絵を描いたようしをお聞きしました。

「何でも大切にされて

結婚後、淡路島に転居され、先ずる性格だそうで、息子さん公設市場の店を買い取り乾物屋にしました。また、昔は今のよう

の話しが区切りに店を始めた。平成18年にご主人が他界

で、仕事の合間を縫ってはご夫を発症され平成29年10月に

よく食べに行かれていたように。市枝さんは聞こえる方です。

色々とお苦勞はあったと思わず、話しかけると笑顔でうな

います。息子さんはお二人がづいて返してください。喧嘩したのを見た事がなく、今体調の良い時には少しお手伝



▲笑顔絶やさない市枝さん

少しでも時間をとり、ゆっくりと関わられるよう、少しでも長く、元気に、笑顔が見られるようにお手伝いできたらと思います。

(生活援助員 木下卓幸)

# 幸多い一年を願って 淡聴協 新年会に参加

1月6日(日)南あわじ市にあるホテルアナガで、淡路聴力障害者協会主催の新年会が行われました。ふくろうの郷からは、入居者10名、職員5名が参加し、その他に手話サークル、淡聴協会員等と大勢が集い、大盛り上がりとの会となりました。



▲みんなで笑顔いっぱい楽しめました!

今年の干支は「亥」です。入居者の吉見輝子さんと松崎恵子さんが年女として紹介され、お祝いの品をいただきました。

その後、豪華な景品を巡っ

ての白熱のビンゴゲームでは、ビンゴがそろった瞬間には力強いガッツポーズが見られました。また新聞紙を各々の工夫で带状に破いていき、長さを競うゲームではホテルの大広間を横断するような超(長)大作も出来上がり笑いと驚きに包まれたひと時でした。

(生活援助員 堀田喜子)

昨年12月27日、花ユニットに入居されていた初田ふみ多様がお亡くなりになりました。最期のお別れの時の職員の挨拶が、人生や命について改めて考えさせられる内容でしたのでご紹介します。(抜粋)

初田さん

から辛そうな表情がみられ、喉

寂しがり屋で、いつも誰かを呼びとめていました。飲み込めなくなっていた時、ね。水分制限が始まった時、クッションを添え、ゼリーやと

「飲みたいのになんでくれへんの」と怒っていました。できることをお手伝いしました。たね。どうしても喉が渇いた。

て辛い時は『内緒の水』。私は、人が少しずつ死に近づき水を含んだ時の表情。あのいてゆく様子をみるのは本当嬉しそうな顔。は怖いと感じていました。人間

ベッドで過ごされるようは生きることが、生きることには生きているのみに美しいと思っ

## 無病息災を願いどんと焼



1月15日(火)ふくろうの郷の裏庭で恒例のどんと焼きを行いました。

平野俊和さんが前日から準備をしてくださり、本格的な櫓を組み、門松や個々の部屋を飾ったしめ縄、正月の書初めなどを燃やし、1年の無病息災をお祈りしました。

## 手洗い研修の実施(1/29)

感染症対策委員会



## 生き終わりの支援とは

ましたし、自分の介護における目的は美しい生き方をお手伝いすることだと思っていました。でもあの日、初田さんのお部屋に行った時、死というもの命を奪うものではなく、人に安らぎを与えるものなのだということをお伝えされたのです。

私たち職員がどれだけ努力をしても、その痛みや苦しさを取ってあげることができなかったのに死というのはいとも簡単に、初田さんを痛みから解放してしまっただけです。頬に触れた時悔しいくらい冷たかった。少し開いた唇が乾いていて、それも悔

人間は、生きることにおいてのみ美しいのではない。生き終えてこそ、見えてくる美しさがあるのだと教えていた。初田さんに出会えて良かった。ありがとう。

(生活援助員 堀田喜子)

# 手話を学び続けるために

手話奉仕員養成講座受講生  
サークル見学・交流

淡路聴覚障害者  
センター便り

洲本市港 2-26  
洲本市健康福祉館 3階

## 緊張と笑顔の時間

受講生は学んだ手話を使つての緊張の自己紹介のあと、伝言ゲームで大いに盛り上がりました。サークル活動の説明では「毎回何人くらい参加していますか?」「手話だけ学習するのですか?」などの質問が相次ぎました。「講

5月から始まった、手話奉仕員養成講座も終盤に差し掛かってきました。淡路島内各手話サークルで見学・交流会がありました。1月25日に開かれた手話サークルあわじの学習会には8名の受講生が参加しました。

## 会って話して繋がろう

受講生のみなさんには、修了後も手話を学び続ける場所として、ぜひサークルに入会してほしいと思います。また、手話だけではなく、聞こえない人の暮らしにも目を向け、より理解を深めてほしいものです。

(高木 恵理)



▲「伝わるかな?」緊張もほぐれ笑顔が広がる



習会での学習も大切ですが、今日は色んな人と会って、手話を身近に感じました。」と感想もいただきました。

## 「聞こえの教室」で高齢難聴者への理解を

1月29日、淡路市津名民生・児童協力委員研修会が淡路市防災あんしんセンターで行われ、「聞こえの教室」のテーマでお話しさせていただきました。日頃、民生委員として活動される中で、「引きこもりがちで心配」「おひとり暮らしをされていていつもテレビの音量が大きく気になっていた」「今度会った時は筆談など会話するときには工夫してみる」など、高齢難聴者との関わりについて考える機会となったと感想をいただきました。(楠本 恵利子)



1月16日、洲本市健康福祉館で、兵庫手話通訳問題研究会(淡路地域班)とセンター共催で「登録通訳者懇談会」が開催されました。通訳活動をする中で迷いや悩むこと等を出し合い、お互いの経験などから解決方法を探ります。個人での通訳や、舞台通訳など、様々な場面での意見が出されました。

## 今後につなげ活かす通訳を

また、今回は淡路島内だけではなく、他市・他地域の状況も聞くことができ、報告書の活用方法についても話し合われました。通訳者として日々の通訳活動を振り返り、聞こえない人の暮らしから学び、寄り添うことが大切。また、今後にもどう繋げ、活かしていくかという課題も見え、大変有意義な懇談会となりました。

(岡本 久子)



様々な意見と経験が話され、有意義な時間を過ごす参加者

## お詫びと訂正

1月号『みんなあつまれ! 輪っはっは♪』の記事の中で、あわじ特別支援学校より参加いただいた先生のお名前が山根先生となっていたが、正しくは加山先生です。お詫びして訂正いたします。

中川原高齢者・障がい者地域  
ふれあいセンター



☎656-0002  
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2  
TEL 0799-28-0990  
FAX 0799-28-0992

「うたさんぽ」を招いて

三味線演奏会

1月18日(金)、洲本市五色町広石地区の「うたさんぽ」という三味線グループをお招きして演奏会を開催しました。

皆さん、はじめは控えめに歌ったり、手拍子をされていましたが、懐かしい歌を聞く中で気分も徐々に盛り上がりマイクを向けられると大きな声で歌われたり、歌に合わせて踊る方もいらつしやいました。

「幸せなら手をたたこう」「松の木小唄」は皆さんよくご存知で楽しそうに歌われていました。

最後は「九州炭坑節」を踊りました。「初めて」と言われる



▲「うたさんぽ」のみなさんの演奏で楽しいひと時を

方も「うたさんぽ」の方のユーモアたっぷりな声かけのおかげで楽しく踊れ、皆さんの笑顔が生き生きと輝いて見えました。

終わった後、「今日は特別な時間を過ごさせてもらったわ」との声が聞きました。

利用者、職員誰もが笑顔になれる楽しい時間を過ごすことができました。

(デイサービス桜ヶ丘 船越愛)

お餅、伊予柑、黒にんにく、焼パン、クッキーが完売しました!

1月20日(日)、第45回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどいが兵庫県宍粟市にて開催されました。朝から雨でしたが暖冬のお陰で雪もなく安心して行けました。

お餅、伊予柑、黒にんにくが完売しました。手作り品も今回は新作ばかり。すべて世界に1つだけのオリジナル品です。1人で2点も買って下さる方も。今までの最高の売上になりました。

今回は、着物をリフォームしてユニホームの作務衣を作り、職員が着て販売にあたりました。お客様の目を引いたことは言うまでもありません。「お餅、楽しみにしていたの。あつてよかった。」「前の時のお餅おいしかった。」とお客様。おのころの家のお餅が定着しつつあるようですね。おのころ屋のパンも大好評で、『ちよつと後で』では、遅い。」という事を皆さんよくわ

仕事を考える利用者会議を目指して②

1月23日(水)午後1時から利用者会議を開きました。屋外・室内作業班及びおのころ屋の就労支援事業の収支について報告しました。

4月~12月の収支状況は収益が予算と比べて約200万円の黒字となっています。

室内作業班の利用者の西端さん、「塩不純物除去及びスタンドパック詰め作業を、継続して頑張りたいです。」縫製作業は昨年度より収益が良くなっています。「沢山作って販売したいです。」

利用者工賃は、昨年10月より時給25円~50円アップしました。山野さんと濱口直さんから「年度末にボーナスをもらえますか」と要望がありました。それを受け、利用者出席日数により年末に3,000円~15,000円を支給できました。

(おのころの家所長 橋詰一則)



### 新施設の必要性と役割

① 防災・減災の拠点として

- ・ 現施設の老朽化により、利用者の安全の確保が困難による移転
- ・ 高齢者率が高く、独居老人の多い地域での地域の人たちが安心して、緊急性を備えた避難所としての役割

② 現状の課題解決と神戸市の福祉施策に基き

- ・ 聴覚障害者の実態調査から見えてきた、課題とニーズを解決する
- ・ 「神戸市障害福祉計画2020」の推進に寄与する

③ 地域貢献

- ・ 地域の高齢者等の福祉に貢献し

**神戸の施設建設**

**31年度着工に向け準備**

多目的交流室  
地域交流室として活用

**神戸事業所**

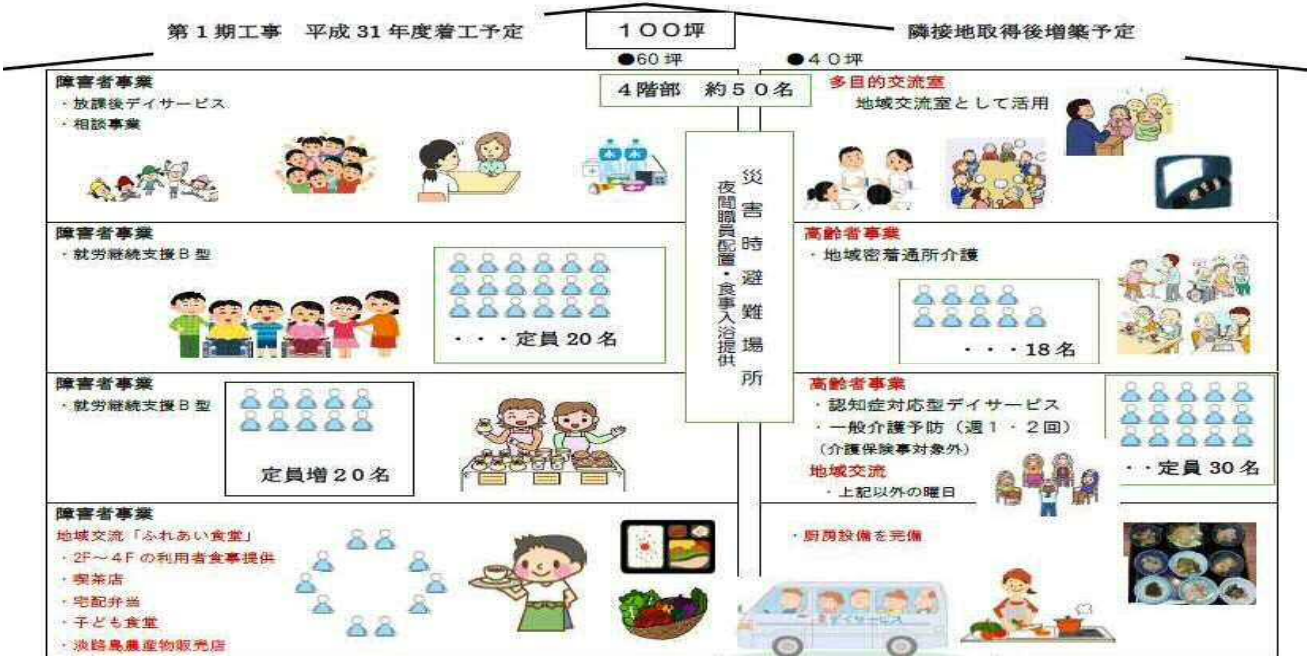
共同作業所 神戸ろうあハウス

神戸ろうあハウス デザイナーサービスセンター

〒652-0897 兵庫県神戸市兵庫区駅南通5-4 西高架下16号

TEL & FAX : 〇七八・五七九・〇七五五

安心して暮らせる  
福祉施設を!!



目標1億円まで、あと  
**44,334,092円**

2019.1.31現在 募金合計額  
**55,665,908円**  
(プレート募金123人)

神戸施設建設募金  
**目標 1億円!!**

- ### 2月・3月 ふくろうの暮らし
- 2/19 (火) 入居者自治会懇談会  
ふくろう大学絵手紙講座  
おのころ屋パン販売
  - 2/20 (水) ふくろう喫茶
  - 2/22 (金) ふくろう大学料理講座・回想法
  - 2/27 (水) 中川原一人暮らし老人食事&交流会
  - 3/2 (土) 地域交流会手話講座
  - 3/3 (日) 桃の節句のちらし寿司
  - 3/4 (月) ふくろうの郷理容店  
おのころ屋パン販売
  - 3/5 (火) 誕生日会
  - 3/8 (金) ふくろう工房手芸
  - 3/12 (火) ふくろう大学書道講座
  - 3/15 (金) ふくろう工房ちぎり絵
  - 3/16 (土) 地域交流会手話講座

### 近畿聴覚障害施設合同職員面談会

大阪：3月21日(木・祝) 大阪府社会福祉会館  
京都：3月24日(日) 京都テルサ東館  
兵庫：3月31日(日) 神戸市立総合福祉センター

### 職員採用試験

**日時：3月16日(土)**

申し込み・お問合せは淡路ふくろうの郷へ  
TEL 0799-25-8550 FAX 0799-25-8551

### 2019年度介護福祉士実務者研修の案内

来年度も引き続き、介護福祉士実務者研修を  
淡路ふくろうの郷を会場として実施する予定です。  
ご希望の方はふくろうの郷までお問合せください。